

## 2 校内コーディネーターの役割と資質・技能

校内コーディネーターの役割は、学校で特別支援教育を推進することです。特別支援教育に関わる教育活動は多岐にわたりますが、その各プロセスで、関係者との連携を、児童生徒への支援に結びつけていくことが大切です。

そのために、校内コーディネーターは、担任や保護者の相談窓口となったり、校内外の関係者間の連絡調整をしたりするなど、特別支援教育に関わる諸活動の中で、様々な役割を果たすことが期待されています。校内コーディネーターの役割について、確認してみましょう。

### <校内コーディネーターの役割チェックリスト>

- 支援を要する児童生徒の実態把握を行っている。
  - 支援を要する児童生徒について担任との教育相談を行っている。
  - 支援を要する児童生徒との教育相談を行っている。
  - 保護者に対して、校内コーディネーターが窓口になることや相談できることについて周知している。
  - 支援を要する児童生徒の保護者との教育相談を行っている。
  - 管理職や各主任等と協議する場を設定している。
  - 校内委員会や事例検討会を開催している。
  - 校内コーディネーターの役割を明確にし、職員全員に周知している。
- ・ 支援を要する児童生徒についての実態把握
  - ・ 担任との教育相談
  - ・ 保護者との教育相談
  - ・ 校内委員会の企画運営
  - ・ 校内関係者との連絡調整
  - ・ 関係機関との連絡調整
  - ・ 地域コーディネーターの巡回訪問等への対応 等



<校内コーディネーターに求められる資質や技能>

役割	活動や取組	必要な力・知識・技能
保護者の相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の意見を傾聴する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カウンセリングマインド</li> </ul>
担任等の相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任等の意見を傾聴する。</li> <li>次のステップにつながる支援について提案する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カウンセリングマインド</li> <li>アセスメント技能</li> <li>障害についての知識・理解</li> </ul>
校内外の関係者との連絡・調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係者情報を集め、チームワークを形成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集・活用する力</li> <li>交渉する力</li> </ul>
地域の関係機関との連絡・調整やネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の専門機関等の情報を集め、関係者をつなぐ。</li> <li>支援のネットワークを形成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間関係を形成する力</li> <li>ファシリテーション技能</li> </ul>
指導・支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内体制を整備する。</li> <li>支援のPDCAサイクルを形成する。</li> <li>研修等を充実する。</li> <li>校内外への理解啓発を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害についての知識理解</li> <li>特別支援教育についての知識</li> <li>「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」についての知識・作成技能</li> <li>教科や学級経営に関する知識・技能</li> </ul>

(参考「特別支援教育コーディネーターの役割と技能」国立特別支援教育総合研究所)

上記の知識や技能は、経験や研修を積み上げる中で、少しずつ広げたり、深めたりしていくものです。また、それらの技能や資質を有する他の教員と連携・協働し、チームで組織的に取り組むことや、外部専門家や関係機関との連携も必要です。